

## 第5回

トラック輸送における取引環境・労働時間改善

福島県協議会

日 時：平成28年11月25日（金曜日）

15：00～16：50

場 所：福島県トラック協会2階会議室

◎開 会

【事務局 及川】

お待たせいたしました。

定刻より若干早いようですが、皆様お揃いのようなので、只今から『第5回トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会』を開催させていただきます。

各委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私、東北運輸局福島運輸支局輸送・監査部門の及川でございます。座長に議事進行をお願いするまでの間、私が進行役を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、本日の資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。

まず、1番目に「議事次第」、次に「委員名簿」、それから「出席者名簿」、「配席図」がありまして、その下に資料1-1「第4回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及びトラック運送業の生産性向上協議会」、こちらの協議会の資料一式をご用意させていただいております。資料1-2といたしまして「『トラック運送における取引環境・労働時間改善地方協議会』における平成28年度パイロット事業（実証実験）の実施集団選定状況」、これは9月30日現在の資料でございます。次に、資料1-3といたしまして「長時間労働の改善等に向けたパイロット事業（実証実験）の実施状況について」、資料2といたしまして「トラック運転者労働条件改善事業（福島県）報告書（案）」、資料3-1といたしまして「トラック輸送状況の実態調査（福島県版）結果概要」と、それから資料3-2といたしまして「平成29年度パイロット事業の実施輸送品類について」と、資料4といたしまして「福島県協議会における平成28年度パイロット事業スケジュール（案）」ということになっております。

もし、不足等ございましたら、挙手の上、おっしゃっていただければと思います。皆様、大丈夫でしょうか。

続きまして、委員の出席状況についてご報告させていただきます。お手元に配付させていただきました出席者名簿のとおり、本日は福島県商工会議所連合会常任幹事の石井委員及びアサヒビール株式会社福島工場の総務部長の平野委員が所用のためご欠席というご連絡をいただいております。

次に、委員のご紹介でございます。本来であれば全ての委員の皆様のご紹介をさせていただくところではございますが、時間の関係上、引き続きご就任いただいております委員の皆様につきましては、お手元の名簿をもってご紹介にかえさせていただきたいと思っております。

なお、委員の交代を予定しておりますので、ご説明させていただきたいと思います。

昭和運輸株式会社の鎌田社長様でございますけれども、健康上の理由から委員辞任の申し出がございました。事務局において、トラック協会様に後任の委員の推薦をお願いいたしまして、丸カ運送株式会社の佐藤様をご推薦いただいたところです。今回の協議会より佐藤様に委員としてご参加いただくことにしたいと思います。皆様のご了承をお願いしたいと思います。皆様、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

それでは、丸カ運送株式会社佐藤様に協議委員としてご参加いただくことといたします。改めまして、このたび委員としてご参画いただきます丸カ運送株式会社の佐藤様でございます。

（「南相馬市にある丸カ運送と申します。主に輸送品目は段ボール原紙、製紙会社の仕事をしています。どうぞよろしくお願ひします」の声あり）よろしくお願ひいたします。

また、人事異動により委員の交代がございましたので、ご紹介いたします。本年6月に東北運輸局長の異動がございました。東北運輸局長として尾関局長が着任しております。本日は、尾関局長が所用のため東北運輸局自動車交通部の宮地次長に本協議会にご出席いただいております。よろしくお願ひいたします。（「宮地でございます。よろしくお願ひいたします」の声あり）

また、パイロット事業の事業実施集団のメンバーでもございます皆様にオブザーバーとしてご出席いただいております。

まず、会津よつば農業協同組合、岩本園芸課長様でございます。（「よろしくお願ひいたします」の声あり）会津よつば農業協同組合様におかれましては、実質的な発荷主ということで、農家の皆様との調整についてもご協力をいただきました。

続きまして、J Aパールライン福島株式会社の兼子物流事業部長様でございます。（「兼子です。よろしくお願ひいたします」の声あり）會津通運株式会社の橋本常務様でございます。

（「會津通運の橋本です。よろしくお願ひします」の声あり）

本日、東北農政局様にもオブザーバーとしてご出席いただきました。東北農政局経営・事業支援部の菅原食品企業課長様でございます。（「菅原です。今日から参加させていただきますので、よろしくお願ひします」の声あり）農水省では、農水産品の流通の効率化をすることにより、生産者物流コストを抑えられないかということをご検討されるということでございます。流通の効率化が図られれば、ドライバーの負担についても軽減されまして、本協議会の取り組みにも寄与すると思われまことから、ともに検討していくことが重要なことだと考えているところです。よろしくお願ひしたいと思います。

それから、福島県協議会における今年度のパイロット事業に係るコンサルティングを実施していただきました株式会社日通総合研究所、上田部長様でございます。（「日通総合研究所の上田と申します。このたびはいろいろ検討会におきましてお世話になり、ありがとうございます」の声あり）上田部長様の方には、後ほどパイロット事業の実施内容等についてご報告いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、本協議会の開催に当たりまして、福島労働局島浦局長様よりご挨拶をいただきます。

#### 【福島労働局 島浦局長】

福島労働局の島浦でございます。どうぞよろしくお願ひを申し上げます。

この協議会も第5回目を迎えました。委員の皆様、大変お疲れさまでございます。トラック運送業における長時間労働の抑制などに向けた環境整備を進めていくために設置をされた福島県協議会のこの取り組みは、現在、政府全体として取り組んでおります働き方改革の重要な取り組みの一つでもございます。

実は、本年度、福島労働局として長時間労働の是正、抑制など、働き方改革に取り組まれている県内32社の企業を訪問させていただいて、それぞれのご苦労されていることについて勉強をさせていただきました。

そこで感じましたことは、長時間労働の是正の方法ですとか、その会社で取り組んでいる取り組みのメニュー等は当然各社各様でございます。また、その取り組みを実施するに当たっても、各社非常に悩んでおられるところも実際ございます。

社内でどこの部署が長時間労働の抑制にとって削減が必要なのかとか、そのためにはどのような取り組みが必要かなど、まず社内的に気づいていくことが重要だと思っております。

この気づきというのは、実は社内にたくさんあるわけです。当然であります。この気づきを経営のトップ、社長さんが拾い上げて、それを実行に移していくという労使コミュニケーションに基づいた取り組みを企業経営のトップが大切にして、それぞれいろいろな取り組みを実行につなげる会社が多くなってきているように本年度の32社の企業訪問をさせていただいた中で感じたところでございます。

話を戻したいと思ひます。全農福島県本部様、またJAパールライン福島様、會津通運様、本協議会におけるパイロット事業の対応など、本当にありがとうございます。この福島県協議会の取り組みは、皆様方のおかげをもちまして、全国でもトップの事業の進捗でございます。

これまでの皆様方のお取り組みに関しまして、心より感謝を申し上げる次第です。

本日は、パイロット事業の状況報告案について委員の皆様方からご意見等を頂戴していくことになろうかと思えます。今後、策定をするガイドラインにとって、この福島県協議会の取り組みがよい報告となるよう、ご意見等を頂戴できれば大変ありがたいと思っております。

さらには、来年度のパイロット事業につきましても、ご議論をいただき、方向性をどうか見出していただければと思っております。開会に当たっての挨拶でお願いばかりで大変恐縮でございますが、本日は何卒よろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、私の簡単な挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### 【事務局 及川】

島浦局長、ありがとうございました。

それでは、これからの進行につきましては、当協議会の座長、今野先生にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### ◎報 告

1. 全国のパイロット事業の実施集団選定状況等について
2. 管内のパイロット事業の進捗状況について

#### 【今野座長】

それでは、私の方で進行させていただきたいと思えます。

早速でございますけれども、まず事務局より報告事項があるということですので、事務局よりお願いします。

[事務局 福島運輸支局から資料1-1、1-2、1-3により報告]

#### 【今野座長】

どうもありがとうございました。

只今、事務局より全国のパイロット事業の実施集団の方の選定状況をご報告いただきました。皆様から何かご質問等ございませんでしょうか。ございませんか。

それでは、ないようでございますので、次に入っていきたいと思えます。

◎議 題

1. 長時間労働の改善等に向けたパイロット事業について

【今野座長】

議題の1番目ということになります。

議題の1番目は、「長時間労働の改善等に向けたパイロット事業」について、日通総合研究所の上田部長様から説明をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔日通総合研究所から資料2により説明〕

【今野座長】

どうもありがとうございました。

只今、日通総合研究所の上田部長様より説明をいただきました。

少々時間をとりまして、皆さんからご質問、あるいはご意見などございましたら、あれば出していただきたいと思います。いかがでしょうか。今の報告につきまして、何か具体的に事実確認等がありましたら、よろしくお願いいたします。はい、どうぞ。

【田母神委員】

すみません、素朴な疑問を1つだけ。予冷の設備を活用するという効率性というのは分かるんですが、市場の販売価格の変動はどうなってくるのか。やはり生産者としては、販売単価がそれで落ちるのであれば、やはり予冷というのを余り推奨してなくなるのだろうと思うのですが、それでも、それで品質が維持できて同じような値段で売れるよということであれば、そういうのは検討の価値があると思うのですが、その辺についての見解があればと思ったのですが。

【今野座長】

どなたにお聞きすればいいですかね。上田様の方で何かあれがありましたか。ヒアリングは。

【日通総合研究所 上田部長】

私どもの方で、検討会の中でのお話等によりますと、それほど大きな影響はないとお伺いしております。

【今野座長】

委員の皆さん、どうでしょうか。関係するようなところで予冷の…続橋さん、お願いいたします。

【続橋委員】

全農福島の続橋と申します。日通総合研究所さんについては、ご指導ありがとうございました。それから、関係機関の皆さんには、ご協力を大変ありがとうございました。先ほど単価のお話出ましたが、単価の方についてはJAさんの直接担当しておられる岩本課長に後からお聞きすることにして、予冷して1日ずらすというのは、一見非常に簡単なように思えて「あっ」という、何でできなかったのという話なのですが、実は単価もさることながら出荷が1日遅れるということは、生産者に対する販売代金の精算も入金が遅れるということに直結するのですね。なので、なかなかそこまで踏み切れなかったという部分はあるのですが、今回やってみて一番効果があったのはこれでしたので、そのことについては今のトラック業界の関係者、あるいは本協議会ができて切実した現状の中でご理解していただいたというのが一番の成果かなと思っていて、JAさんとそれから協力いただいた生産者の皆さんについては、今回の取り組みがある程度ご理解していただいたのかなと思っております。あと、岩本課長、少しあれば。

【今野座長】

それでは、会津よつば（農協）、岩本課長、いかがでしょうか。

【会津よつば農協 岩本課長】

今、1日予冷の部分でございますが、現段階でいきますと、やはり私どもの産地は果樹の時期、今夏場が主流になってくるのですが、外気温が今までよりは、かなり高温になってきているということで、集荷場で集荷をした例を挙げれば、キュウリなどは、外気温が高いですから、キュウリ自身が暖まっているんですね、大体。トラックで予冷をしながら輸送するのですが、どうしても外気温が高かったりで、どうしても予冷、冷えるまでにトラックの中で時間がどうしてもかかると、やはり市場に行って日持ちの問題、棚もちの問題というのでしょうか、そういう部分があったのですが、キュウリを例にとると、逆に1日しっかり予冷をして出荷していただいた方が棚もちが良かったり、品質的にも良いというような市場評価も、もういただいている例がございます。ただ、それをするにはやはりそれだけの設備をしなきゃいけな

い、その設備投資の方がやはりやりづらい。今は荷物が着いて競りをするという段階ではなく、ファクスで荷物がいくつできたということが、それが分かれば先に売ってしまうというような時代でございますので、産地側で数量が確実に集まって、予冷をして、そして翌日朝から出荷をする形がとれれば、物はもう市場の方で数字が分かっておりますから、もう先々で販売をしているということで、今までの流通の中から言えば、産地予冷というような輸送体系に変わらざるを得ないのではないかと、産地、市場側との話の中では、そのような言付けがなされているというような状況です。

**【今野座長】**

どうもありがとうございました。産地予冷ということは、トラックで予冷するのはやはり違うのですか。

**【会津よつば農協 岩本課長】**

そうですね。やはり湿度等も管理しますので、品質面では通常のトラックで予冷をしながら輸送するという部分よりは劣化等がかなり少ない、それくらい予冷の技術が上がってきていると私は見ております。

**【今野座長】**

その問題でも結構ですが、その他でも結構ですので。どうぞ。

**【西條委員】**

2点ほど質問させていただきます。日本通運の西條でございます。

この予冷設備の活用で、會津通運さんが事前に横持ちをして予冷をしてということで、コストはどれぐらいこれによってかかるのか。それがどこに今度負担になっていくのかということが1点と、シンプルに、これ当日の朝で、ミルクラン的に例えば4トンとかで横持ちをかけて大型で積みかえて出すような仕組みというのは不可能だと思うかどうか、その2点をお伺いしたいと思います。

**【今野座長】**

どうですか。

【会津よつば農協 岩本課長】

多分、現在までの今の現況の集荷体制でいきますと、各集荷場での出荷量というか集荷量がまちまちな部分がありますので、結局10トン車で来ていただいても積み切れない集荷場もありますし、逆に言うとそのロスがかなり現況はあるのかなと思っています。逆に、横持ちをして各集荷場、農家さんの近場の集荷場に集めて、そこから横持ちかけて予冷庫の施設に持ってくるとなると、少ない量ですと内部の早く言えば人員である程度やり切れる量というのも出てきますので、コスト的には多分2割までは上がらないんじゃないかなと思っています。ただ、予冷庫から東京へ行く部分につきましては、10トン車満杯で今度は輸送体系が組めますから、今度はそちらの効率がかなり上がってくるかと思しますので、差し引きで1割前後になるのではないのかなと。確実に試算したわけではございませんが、1割程度ではないのかなと思っています。ただ、予冷することによって品質の保持ができたり、品質管理が良かったりすれば、自ずと市場での単価という部分もそれなりに評価をいただけるのではないかなと思っていますので、トータル的にはやはり生産者の皆さんから少しずつですがご負担いただくという形にはなるのですが、効率性を考えていけば現況の部分から若干上乘せぐらいの中で運用できるのではないかなと思っています。ただ、予冷施設の減価償却その他の部分については、JA内部の中で消化するというその部分については、生産者の方の負担をかけないというような部分を条件として考えればそのようなことになるのではと考えております。

【今野座長】

よろしいですか。

その他ございませんでしょうか。どうですか。

【右近委員】

現況把握のところで、会津にいる間に6時間8分、平均でかかっているということでしたが、この6時間8分の内訳を知りたいのです。集荷に平均いくらかかって、選果にどのぐらいかかって、それだけです。積み込みになるのかという。今の予冷の問題は、きっと集荷の効率化になるので、その部分がきっと短くなる。その次の色つけて云々みたいな選果の効率は、選果の部分がどのぐらいになると。要するに、6時間の中のそういう重みがわからないと、それぞれメスの入れようが違うと思うんですよ。その辺は分析されていないのでしょうか。

【今野座長】

いかがでしょうか。

【日通総合研究所 上田部長】

今回の中では、積み込み時間と待ち時間というのが、ちょっとそこまで細かくは把握できていませんで、実際には資料の9ページにあるのですけれども、出発して、例えば7月22日、一番上なのですけれども、本社を11時に出発して坂下に11時30分ということで、この30分が走行時間ということになると思います。次に、坂下を出発したのが11時30分ということになりますので、この30分間に待ち時間があったり、できたものを積み込んだりという作業の状況になっております。

【右近委員】

現実はそのだと思うのです。ただ、平均的にはいくら運転していて、いくら集荷にかかっていて、それでそういう分析をしない限りは、要するに効果的な分析ができないのではないと思うのです。要するに、例えば3カ所、3、4カ所を平均で6時間ですから、1カ所2時間弱ということですよ、これを見る限り。そのうち運転が何時間で、移動時間が何時間で、集荷に何時間かかって、選果にどのぐらいかかっているのかというのがわかると、ほとんど選果が問題になっていないのかもしれませんが、今の予冷対応が良いなら。ほとんど選果の、集荷に時間がかかるという現実がわかれば、そこを攻めていけますし、ただ、いろいろな問題出ますよね。各箇所予冷設備が必要になってくるみたいな話になってきますから。それはまた別の問題だとは思いますが、そのような分析をされたらどうですかという話です。

【日通総合研究所 上田部長】

ありがとうございます。今まだそこまでは・・・今回の中ではできていないです。

【今野座長】

その他ございませんでしょうか。ご意見、どうぞ。

【右近委員】

10ページの下に「多少の遅れであれば対応するような状況」というのは、例えば取りこぼしというのはどのぐらいある、実績として。この13時間何がし頑張った状態で、例えば運んで欲しかったのにとりこぼしがあるのですよね、この書き方は。それはどのぐらいの比率…。

**【日通総合研究所 上田部長】**

今回の中では、そのところは…ちょっと把握はできていません。（「わかりました」の声あり）はい。

**【今野座長】**

予冷というのは、大体施設というのは何カ所ぐらいつくるのですか。それとも1カ所に全部集中…、普通どうなのですか。9カ所ぐるっと回ったら行くのか。それぞれ造るのは大変ですよ。

**【会津よつば農協 岩本課長】**

はい、現況からいいますと、当JAの管内というのは、大体でいいますと千葉県よりちょっと大きいぐらいの広さになります。今拠点として担っているのは南会津の南郷地区にトマトの選果場がありますので、そちらに予冷库施設が設置されておりまして、そのトマトについては全量1日予冷して翌日早朝から出荷というような、現在とっております。今、来年の3月にできるのは、一応高田地区という、若松のちょうど西側の方のエリアになるんですが、永井野の選果場の近くになります。そちらに今集荷場等を、それは3地区の集荷を1カ所に集めようというような形で考えております。今あともう現段階の中でいけば、やはりそのような拠点を本当は3つ、4つ、造った中でラインができて、最終的には南会津のトマトを積んで京浜に向かっていく、あとはもう高速道路に真っ直ぐ乗っかっていけるというようなそういう輸送ルート等を兼ね合わせた施設の設置を今後は検討していかなければならないのでは思っています。

**【今野座長】**

どうもありがとうございました。

はい、どうぞ。

**【平栗委員】**

すみません、ヨークベニマルの平栗と申します。

この数量というか、前もって選果して、今日はどのぐらいの量ですよ、この商品がというような情報というのは、例えば運送会社さんを含め、そちらの方に前もって連絡は行くような体制にはなっているのですかね。ただ来てから数量が確定していたのでは、なかなか積むところでも大変でしょうし、次があつて行ったときに今度パレットを含めてどんな形で最大積載量をうまく積むというのも結構技術を要するんじゃないかなと思ったものですから、すみません。

**【会津よつば農協 岩本課長】**

現況からいいますと、昔ながらというのでしょうか、各農家さんは集荷時間ぎりぎりまで選別をして集荷をしてきているというような現状です。なかなか生産者の方も高齢化になってきておりますから、スマートフォンで何個ありますかと集荷場に来る前に数字を教えてくださいというようなそういうかなり今風のやり方というのを教えるのにも、ソフトをつくったりするのもなかなか・・・かなり費用的には大変な負担が出てくるのかなと。やはり身近な、どうしてもできるだけ集荷、パレットの積み方等については運転手さんの利便性を図ってやっているつもりではあるのですが、どうしてもやはり私どもが目につかない積み方というのでしょうか、そういうやはりテクニク的な部分も十分ありますので、集荷場で集まったものの整理というのでしょうか、修正というのは、どうしてもやらざるを得ないというのが現状になっております。

**【今野座長】**

いろいろと出されておりますが、その他、ございませんか。

でも、結局、予冷だと、翌日の早朝出荷する形になるんですかね。（「そうですね、はい」の声あり）そうすると、やはり予冷の装置のところで一定の締め切り時間でやらないと、みんな夜までかかって、予冷施設での長時間労働になる。

**【会津よつば農協 岩本課長】**

ただ、現況からいいますと、今各集荷場とも遅くても10時までには持ってきてくださいと。それ以上遅くなる方についてはご一報くださいというような形の中で、一応集荷時間は決めておりますし、予冷、現況でいう午後からのお昼前後の積み込みを始めて集荷場ごとに積んで2

カ所、3カ所回っていただいて京浜に戻っていくというよりは、もう2カ所、3カ所を集荷して、あと会津管内のどこかの予冷庫に入れていただくということであれば、夕方までには遅くても入るし、労働時間からすると分業化がある程度できるのかなという思いはあります。あとは、今の現況からいいますと、夜、市場さんで卸していただくというような時間帯にはなって、どうしても夜の作業が多くなると思うのですが、会津で積み込みを朝からしていけば、遅くても夕方には作業がある程度は終了できるのではないかなという、昼間の作業時間が長くなるのではという思いは持っております。

#### 【今野座長】

はい、どうもありがとうございました。いろいろご意見いただきましたが、どうしてもということはありませんでしょうか。はい、どうぞ、田母神さん。

#### 【田母神委員】

素朴な質問。たびたび申しわけございません。運輸労連の田母神と申します。

12ページの写真を見て少しちょっと気になったのですが、一番上の左側はいわゆるプラスチック製のボックスのコンテナで集めていく。要は、これを選果するということが今度は作業が入ると思うのですが、その下の真ん中の箱なんかを見ると、生産者名が記入された箱に詰まっているということになると、これは農家さんがそのサイズに選別をして持ち込んでくるということなのでしょうか。そうすると、この比率によって、例えば農家さんが選別をして持ってくるとなればもう少し情報が早く集約できそうな気がするのですが、選果場で分けるとなると、分けてみてから初めてサイズ感が出てくるのでわからないというのがあって、スマートフォンの話が先ほど出て、高齢者だからという話なのですが、実は四国のある農協さんで、高齢者の方々に簡単なタブレットを渡して集荷する情報を都度リアルタイムに登録することで、今日このぐらいが集まってくるという予測値を出して、それで車を手配するというようなことをやっているという私何かで見たものですから、意外と高齢者＝(イール)タブレットはだめじゃなくて、簡単にボタンを押して数量を打ち込めばすぐ送信できるような仕組みさえ考えれば、こういう事前仕分けがされているところだともっとデータがとれるのかなとちょっと感じたものですから、その流れ、どのぐらいのバランスで実際選果場に入ってくるのかということがわかれば教えていただきたいなと思いました。

【会津よつば農協 岩本課長】

多分、この右、一番上の左側のこのコンテナの部分につきましては、うちの柳津の選果場の荷物の部分かなと思うんですが、ここの柳津の選果場は約65名から70名ぐらいの方がご利用して、どうしてもキュウリの搬入時間というか、距離というのは集荷場を中心としてやはり3km前後がエリア内になってしまうというのが現況かと思っております。真ん中の部分でいきますと、生産者の名前がある部分は、当管内のキュウリの生産者全員で約300名いらっしゃいます。実質選果場を使っているのは70名ぐらいということ、あと二百何十名の方は個選である程度選別をして持ってこられるという方ですので、そういう方々につきましては、やはり朝収穫をして、朝詰めて、それで持ってくるということでございますので、多分私も今お話がありましたように、どこかのJAさんではタブレットでこうして数字がわかるというか伝達できるというシステムを私も聞いたことはあるのですけれども、ただ農協の内部だけでその数字がわかっていても何の活用にもならないということではないのかなと思っております。集荷場でも分かる、運送屋さんでも分かる、速く言えば中間のパール業者（JAパールライン福島？）さんでも分かるという、同じ数字を、うちは今日60ケース出荷するよというのは集荷場にも分かるし、運送業者さんの方にも分かるしということで、同時配信ができるような体制ができて連携がとれてこない、その数字の活用というのは最大限になっていかないのかなと思います。

【今野座長】

よろしいでしょうか。はい、どうもありがとうございました。

皆さんからいろいろと今年度のパイロット事業の実施につきましてご意見をいただいておりますが、これが報告書に反映されるよう、日通総合研究所、事務局において進めていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

以上で議題1を終わって、次の議題2の方に入らせていただきます。

2. 次年度のパイロット事業について

【今野座長】

次年度のパイロット事業についてということでございます。事務局よりまず説明をお願いします。

〔事務局から資料3-1、3-2により説明〕

【今野座長】

どうもありがとうございました。

今の報告につきまして、まず質問、あるいはご意見がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。最終的にはこの3案の中からどれかを選ぼうということになるのですか。それとも、いろいろご意見いただいて、最終的には次回か何かのときに確定すると…。

【事務局 及川】

できれば、次回の協議会、これからスケジュールの方でご説明させていただきたいと思うのですが…、その際には29年度早々から事業展開できるように、この場で少なくとも方向性といいますか輸送品類をどれにするかというのだけは、方向性として示していただければありがたいと思っております。

【今野座長】

はい、わかりました。いかがでしょうか。皆さんの方から忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。はい、どうぞ。

【平栗委員】

中身はあれなのですけれど、軽工業品とか雑工業品というのは具体的にどんな中身なのか。

【事務局 及川】

すみません、これがおわかりいただけないと思いましたので、資料3-1の一番後ろをご覧くださいよろしいでしょうか。一番後ろのページですね。こちらに品類と品目対応表というのがございます。コピーのため見にくくはなっているのですが、農水産品から特殊品まで品目別に分かれております。軽工業品ですと、加工食品、それから飲料・酒、紙・パルプ…。罫線が本当はあるのですけれども、薄くて見えなくなって申しわけございません。

【今野座長】

加工食品から何ですか。壁紙。日用品はどちらになるのですか。

【事務局 及川】

日用品は雑工業品になるのですが…。

罫線が…。軽工業品はたしか衣類・布団などの繊維製品までが軽工業品。壁紙からプラスチック製品まで（が雑工業品）というふうな形になっておりまして、これが今回の調査のときの品類、品目の対応表になっております。見にくい資料で大変失礼いたしました。申しわけございません。

【今野座長】

ということですが。運送の場合は、これは別々にやられているのですか。軽工業品と雑工業品というのは、実際には一緒じゃない。別ですか。

（「積み合わせ運送がされている。」との声あり）

【今野座長】

ということで、ご質問についてはそういうことですが。それを含めてちょっとご意見いただきたいと思います。農水産品をもう一度やるというのはどうですか。もう大体分かったという感じ、それとも「待てよ」というところがあるのかないのか。上田さんはどうですかね、やってみて、ほぼ何とか一定の方向を出せるだろうということ、さらにもう一年とあればという雰囲気はありますか。農水産ですか、実際やるかどうかは別にして、参考意見で…。

【日通総合研究所 上田】

分かったかと言われると、なかなか幅の広い、本当にもう何回かお伺いした中で、今回のお仕事にも務めさせていただきましたし、来年、今年も一部使いましたけれども、予冷設備を使ったところというのは、なかなか従来とはまた違った難しい部分も出てくると思いますので、そういう意味では難しい事業かなと思っているところです。

【今野座長】

はい、どうもすみません。はい、どうぞ。

【右近委員】

これは1回目のときから言っていた案です。第1案で。今日の結論は、遠目で見れば農産品も割と手間をかけて工業製品のような扱いにすれば効率はよくなりますよという結論だったと思うのですね。要は、管理下に置いてちょっとコストをかければ工業製品のように扱えるというのが効率化の一步ですよという結論だったと思うのです。ですから、やはり軽工業品というのは違う問題がついていて、はらんでいるので、これはやはり29年度…じゃないかという気はします。

【今野座長】

はい。その他ございませんでしょうか。

他の県は、東北地方だと何、パイロット事業はいろいろやって、こういうふうに行っているのでしょうかね。

【事務局 及川】

本日、資料を先ほど1-3でご説明させていただきましたけれども、農水産品をやっているのが青森と山形、それから岩手については国産材の合板、宮城県についてはちょっと特殊で、電力の電力量計器ですか。それと、秋田が紙をやっていると聞いております。

(「資料の1…でしょうか。」との声)

【事務局 及川】

(東北)管内だと(資料1-3)こちらの方が見やすいと思います。全国的なものは1-2でご覧いただければと思います。

【今野座長】

輸送関係のシェアからいうと、やはりどういう部品を輸送するのが多いかという、福島県についてはいかがですか。少なくとも、問題があるところに集中してやるのか、あるいは、より多いところ、労働時間、拘束時間が多いところ…。

なかなか、困りましたね。皆さん、最終意見でなくても率直なところを、感想で結構ですか

ら出していただければと思いますけれども。はい、どうぞ。

【加治委員】

磐城通運の加治と申します。

先ほど農産品で、農産、各生産者の方が10時に各出荷のために持ち込むというお話があったかと思えます。これを逆に軽工業品的に置きかえましても、現実にはいろいろ出荷をするのに実はもっと遅いケースもあるやに思うのでございます、現実としまして。注文を着荷主のギリギリの荷物注文による営業オーダーが入りまして、実は10時で済むか、お昼過ぎに当日のものをオーダーが入ると。それに対する車両の対応とかいろいろというようなことが発生しているのが現状の部分かなということも感じます。そういったことからすると、それによるドライバーのその待機時間、その積み込みをするまでにある程度の時間が必要で、当然それには荷揃えも必要でしょうし、いろいろな状態が考えられるわけですが、ですから時間的なことをいいますと、ある部分では農産品と軽工業品、ある面では似ている部分があるのかなということからすれば、29年度は軽工業品等で実証実験をという考え方もあるのではないかと考えます。

【今野座長】

その他、ございませんでしょうか。軽工業品なんていうのは特定の大きな企業とか、例えば自動車会社から、そこでずっと待っていると、あるいは月曜日の朝持ってこいというような話をやはり聞くんですけども、ちょっと農産物とは全然違うあれでしょうかね。市場を通すような形ではないのですね。そうすると、個別の企業との関係というか。

【加治委員】

ただ、一時的に置いておくような施設がありました場合には、まず出してから入れると、基本的には。県内から、物が入っているところの物をまずは出荷して、その後に県外から持ち込んだものといえますか、品物を入れると。それによって、タイムロスによって待ちがかかるというようなことが現実としてはあるのかなと。

【今野座長】

宮城で何か着荷の方の協力を得られなかった、選定できなかったというか。（「ああ、そう

です」の声あり) いや、特定の企業になってくるとなかなか協力してくれるものがないのだろうかということ。(「だからこそ、この・・・」の声あり) わかります。

【右近委員】

幅が広いわけですから、良いのではないですかね。

【今野座長】

良いのですかね。別に特定の企業じゃなくてこれは製品の性格だとかそういうこと・・・。

【右近委員】

運輸局(事務局)さんの優先順位を1、2、3と振っていただいていると推察いたしますので。

【今野座長】

そういう順番だったのですね。今、お話では軽工業、あるいは雑工業なのですかね。その辺あたりに着眼をして決めたらどうだろうかというご意見がどうも多そうですね。他にご意見ございませんか。

もしいろいろご意見あれば、最終的には事務局でも整理をしてもらってということですが、どうもご意見としては1案しか出ていないので、これでましようかという、やった方が事務局としては楽かなとは思いますが、どうですか。この分野は結構多いのですね。輸送関係、トラック輸送というのは、実際の動きとしては。農水産は大体わかる、外から見ると分かるのですけれども。それじゃ、1案の方向で詰めていただくということとして、これでよろしいですか。事務局。

【事務局 及川】

はい、了解いたしました。とりあえず、1案の方で進めさせていただければと思います。ただし、これから発荷主さん、着荷主さんのご協力をいただきながらこれを進めていかなければいけませんし、選定についてもこれがご協力いただくというのがまず大前提になりますので、そちら辺につきましては事務局の方でもう少し詰めさせていただいて、次回の協議会に新たな事業集団ということでご提案させていただければなというふうに考えておりますので、よろし

くお願いしたいと思います。

**【今野座長】**

はい、どうもありがとうございました。

皆さん、あとはご意見ございませんね。

それでは、皆様からいただきましたご意見につきましては、事務局で今言われたように整理させていただいて、発荷主から着荷主までの事業集団というのを選定するというので、次回の協議会で提案させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。はい、どうもよろしくお願いたします。

3. 今後のスケジュールについて

**【今野座長】**

それでは、次の議題3に参ります。

今後のスケジュールについてでございますが、事務局より説明をお願いします。

[事務局から資料4により説明]

**【今野座長】**

今事務局から今後のスケジュールについて説明いただきましたが、この点につきまして、ご質問、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。

4. その他

**【今野座長】**

それでは、その他とございますけれども、事務局から何かございますか。

**【事務局 及川】**

事務局の方で、今年度のパイロット事業につきまして、単年度で単発的にやったものでは余り意味がないのかなと。やはり継続的なフォローアップ、こちらの方も必要になるのではないかなというふうに考えております。フォローアップが行えればより有効な取り組みになるというふうに考えております。

先ほど会津よつば農協さんからも予冷施設のご設置をされる予定というご報告もいただいたところでもございましたけれども、つきましてはJ Aパールラインさん、會津通運さんにもご迷惑をおかけするかもしれませんけれども、そのフォローアップ的なものを来年度のパイロット事業というか本協議会の方でご報告いただくようなそういった取り組みをさせていただければと考えておりますので、この点、ご了承いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

**【今野座長】**

只今事務局より今年度のパイロット事業の実施結果を踏まえまして、フォローアップをお願いしたいと提案がございましたが、今年度の事業集団の皆様、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。はい、どうもありがとうございました。

**【今野座長】**

最後になりますが、皆様から貴重なご意見、ありがとうございました。今年度のパイロット事業の最終的な取りまとめを進めていただくとともに、次年度のパイロット事業の具体的な検討に入っております。次回の協議会においても、活発なご意見をお願いしたいというふうに思っております。

それでは、本日の全ての議題を終えましたので、進行を事務局の方にお返ししたいと思います。皆さん、ご協力ありがとうございました。

◎閉 会

**【事務局 及川】**

今野先生、ありがとうございました。

それでは、最後に、協議会の閉会に当たりまして、東北運輸局自動車交通部、宮地次長よりご挨拶申し上げます。

**【東北運輸局 宮地自動車交通部次長】**

東北運輸局自動車交通部次長をしております宮地でございます。

本日、予定では自動車交通部長の中屋敷が出席する予定でございました。今朝の10時まではその予定でしたが、急遽抜けられない用事がございまして代理として出席をさせていただい

ております。急なことでしたので、事務局の方には資料の修正とか差し替えとかいろいろとお手数をかけてしまって申しわけないと思っております。

さて、本日は、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席いただき、また熱心なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。本日の会議では、前回の協議会でご承認をいただきましたパイロット事業、これを9月中に実施した実証実験の結果等について報告をさせていただきました。東北においては、先ほど事務局の方からもお話がありましたが、6県で同様にパイロット事業に取り組んでいるところでございます。福島県が一番早く取り組み、ほかの5県については現在進行中のところ、これから始めるというところもでございます。福島県につきましては、東北はもとより全国的にも早い段階での取り組みをしていただきまして、大変ありがとうございました。これにつきましては、発着の荷主企業様や運送事業者様のご協力の賜だと思っております。この場をおかりしまして改めて御礼を申し上げます。

先ほど事務局よりご報告申し上げましたけれども、今回の実証実験を通じまして、労働時間の短縮に向けた解決の方向性といいますか、方策といいますか、一定のものが見出せたところではあります。また新たに別な課題といいますかそちらの方も出てきたのかなということも考えております。これも事業の成果の一つであるということで、今後、各運送事業者さんと荷主さんが協力をしながら改善に取り組むケーススタディーにはなったのではないのかというふうに思っているところでございます。

パイロット事業につきましては、来年度も続く訳でございますが、委員の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご協力のほどをお願い申し上げます。簡単ではございますが閉会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、長時間にわたり誠にありがとうございました。

#### 【事務局 及川】

宮地次長、ありがとうございました。

宮地次長の方からお話ありましたけれども、本日はご議論の方で貴重なご意見を賜り、本当にありがとうございました。

今回の協議会の議事録につきましては、また毎回実施しておりますとおり、委員の皆様にご確認いただいた後で、その後ホームページ等で公表させていただく予定としております。

次回の開催、先ほど申し上げたとおり、事業集団の選定の関係もありますし、実施結果の取りまとめの状況もありますので、年度末の開催を予定させていただいております。

開催日の日程調整につきましては、また会が近づきましたらこちらの方からご連絡させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第5回トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会を終了いたします。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。